

第42回防衛問題セミナー



テーマ：水害から国民を守る

北海道防衛局は、令和元年9月19日（木）旭川市民文化会館において、「水害から国民を守る」をテーマに、静岡大学防災総合センターの牛山素行教授と陸上自衛隊第2師団の垂水達雄副師団長を講師にお迎えし、旭川市、旭川市自衛隊協力会及び旭川商工会議所の後援をいただき、また、自衛隊旭川地方協力本部の協力を得て、第42回防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、末永北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて旭川市の西川市長から後援者を代表してご挨拶を賜りました。

講演内容について



後援者ご挨拶
旭川市 西川 市長



主催者挨拶
北海道防衛局 末永 局長



静岡大学 防災総合センター
牛山 素行 教授

第1部では、牛山教授から「地域を知り、防災を考える ―最近の豪雨災害事例から学ぶこと―」と題し、近年の風水害による人的被害の特徴に関する研究結果を紹介するとともに、地域の災害特性を知ることの重要性や「避難」の意味などについて講演がなされました。



陸上自衛隊第2師団
垂水 達雄 副師団長

第2部では、垂水副師団長から「災害発生時における自衛隊の対応」と題し、風水害を中心に実際に災害が発生した際の自衛隊の対応やこれまでの活動実績などについて講演がなされました。



今回のセミナーには、多くの方々にご来場いただき、皆様からは「頻発する自然災害に対して自分に何ができるか、何をすべきかを学習することができた」、「災害から身を守るには、自分の住んでいる地域の特徴を知り、災害の発生状況に応じた防災行動が重要であることを理解できた」、「人命救助や後方支援における自衛隊の果たす役割の大きさを改めて感じた」、「自衛隊が地域と共にあることが心強いと思った」、「身近にありながら、平穏な時に忘れられる自衛隊の存在をもっと発信すべき」など多くの感想が寄せられました。

質疑応答時の様子



災害派遣活動パネル展示



また、セミナー会場では、自衛隊旭川地方協力本部の協力を得て、災害派遣における部隊・隊員の活動状況がわかる写真のパネル展示を行いました。

当局では、今後も道内の皆様に防衛省の政策、自衛隊の活動等について、ご理解を深めていただくため、各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。